

(別添 3)

【知夫村】
校務DX計画

校舎が一体型の小中一貫校で職員室が1つである点、その建物内に村の教育委員会事務局が入っている点など報告連絡において好条件がそろっている。また、小学部は完全複式校であり、中学部も各学年5名以下の極小規模校である。そのため「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」の項目によっては課題とはなりにくいものもあるが、国や県レベルの調査が、クラウドサービスの中で実施されてきている状況の中では、対応できる体制が必要になってくると認識している。

【校務作業のデジタル化】

当村においても校務作業はデジタル化が進んできているところであるが、更にICTを活用した学校事務の省力化を図っていく。

【クラウドツールの活用】

学校における資料の共有、成績や指導要録の管理、保護者への情報発信や収集のデジタル化を継続して進めていく。

【次世代型校務支援システム】

島根県が主導している共同調達による次世代型校務支援システムの導入に向けて、ゼロトラストに係るセキュリティ対策、教員用端末の1台化、ロケーションフリー等の調査・研究を進めていく。

【外部人材の活用】

専門家から学校の授業や保守点検における助言等を受けることができるよう、外部の専門業者とICT支援員サポート事業を契約し、離島におけるハンデへの解消に取り組んでいく。